

**成蹊大学が、学修成果の可視化・教学 IR 活動の一環として、
学生が大学で“なにを学び、どう成長したか”を発信する特設サイトを公開
—学生視点のインタビューとともに、成長の過程をイラスト化—**

成蹊大学（東京都武蔵野市、学長：森雄一）は、このたび、学修成果の可視化・教学 IR 活動の一環として、学生が大学での学び（気づき・考え・振り返り等）を通して、“どのように成長したか”について、学生視点のインタビューとともに、その過程をイラスト化した特設サイト「成長する成蹊大生の図鑑」を公開しました。

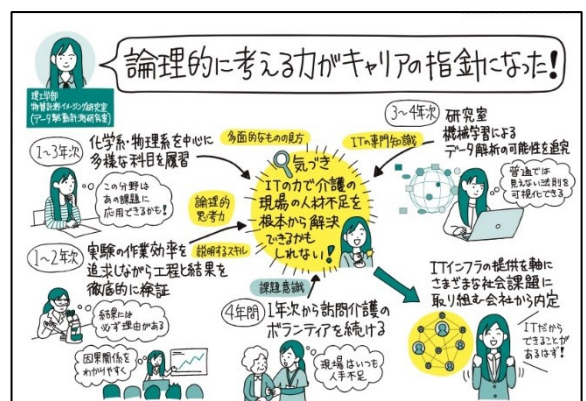
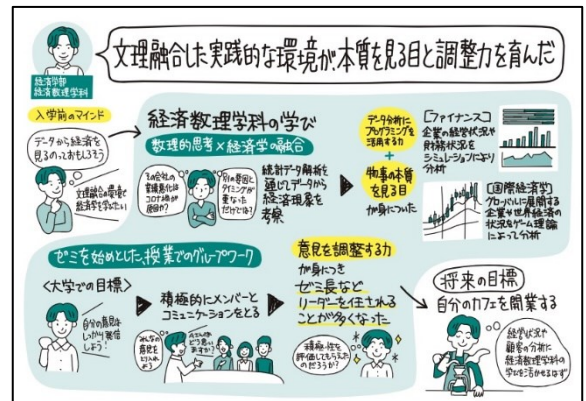
各学部各学科、および本学の学部横断型の特別プログラムで学んだ計 17 名の学生が、本学での学びの中で得た、気づき・考え方・自身の課題・協働の様子・身についた力等を振り返るとともに、今後の目標も交えて、成長の過程を語っていますが、それらをよりわかりやすく伝えられるよう 1 枚のイラストの中に表現しました。

成蹊大学では、学生がより主体的に学修に取り組むことのできる教育を実現するために、一人一人の学生が、学びによって得られた能力・スキルを把握できるよう、教学 IR 体制を構築し、学修成果の可視化を積極的に推進しています。今回の特設サイトは、学修成果の可視化とともに、在学生に対しては、他学生の例から自身の学修成果を振り返り、自己理解のヒントとすること、受験生等に対しては、成蹊大学での学びを、広く、かつイメージしやすく発信することも目的としています。

昨今の高等教育における教学 IR 活動は教職員を主体とした教育成果の把握・可視化が中心となっており、また、一般的な教学 IR 活動は量的データを収集・分析することに重きが置かれています。今回の取り組みは、学生の声を通じてデータを収集し、学びの成果を捉えなおすことで、量的データに現れない本学の学生の特徴・性質等を見出すといった、従来とは異なった観点からのアプローチであり、これまで得てきた量的データと照合することで、より効果的な分析を実施することも考えています。学修者本位の教育の実現に向けて、より多角的な学修成果の可視化に取り組んでいきます。

○「成長する成蹊大生の図鑑」特設ウェブサイトは以下 URL よりご参照ください。

https://www.seikei.ac.jp/university/aboutus/edu_info/pictorialbook/



本件に関する報道機関からのお問合せ先

成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL.0422-37-3517 FAX.0422-37-3704 E-mail.koho@jim.seikei.ac.jp